

京都御所の歴史

延暦13年(794)、桓武天皇により遷都された平安京の内裏は、大内裏の中央東寄りにありました(現在の御所の西約1.8km)。内裏は度々焼失し、その間、天皇は貴族の屋敷などに移りました(里内裏)。元弘元年(1331)光厳天皇は、里内裏である土御門東洞院殿にて即位されます。

その後、ここに住まれた後小松天皇の時、明徳3年(1392)に南北朝の合一が成りこの里内裏が内裏として定まりました。当初は一町(約120m)四方の広さでしたが、時の権力者の支援を受け徐々に拡大し、徳川政権の時に現在の広さ(約11万㎡)になりました。内裏はその後も火災に遭い、天明8年(1788)の大火の後には、平安時代の様式に基づいて再建されました。現在の建物は、その時の建築形式を引き継ぎ、安政2年(1855)に造営されたものです。

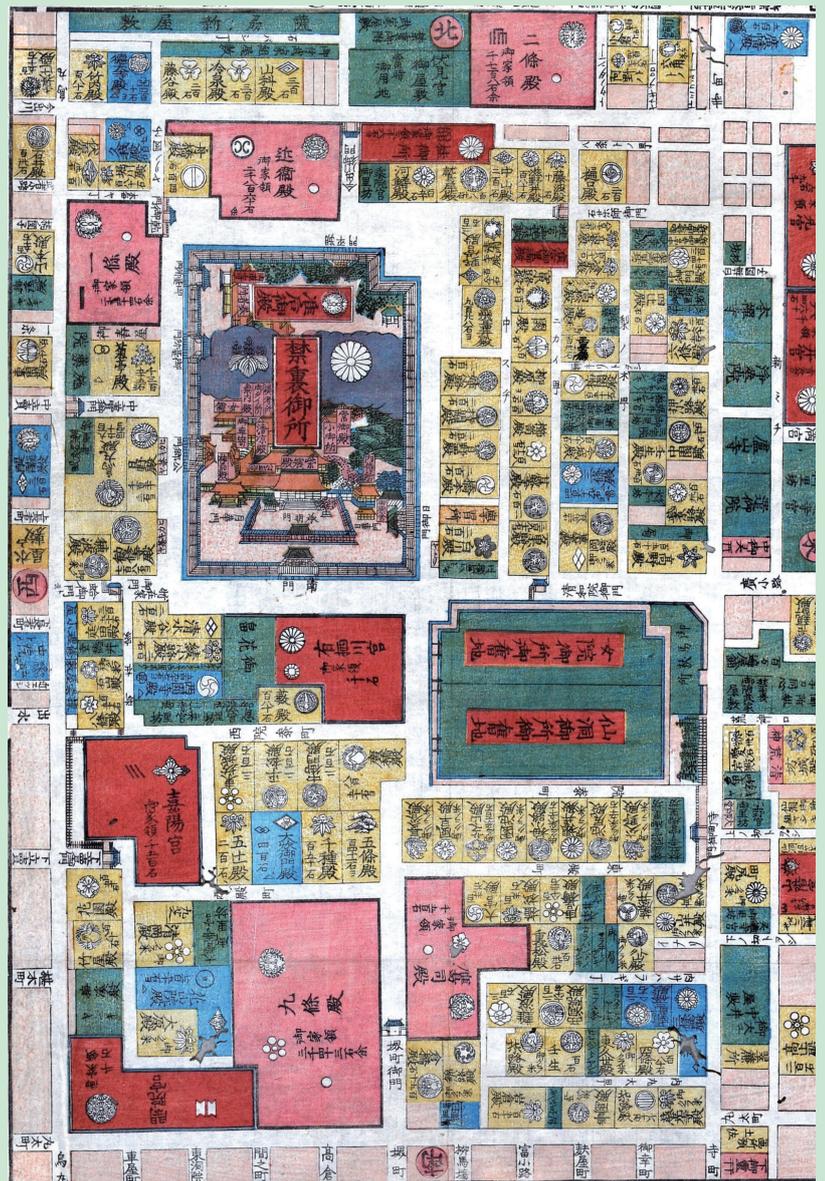
京都御苑の歴史

現在の京都御苑一帯には、平安時代から貴族の邸などがありました。14世紀末以降は、土御門東洞院内裏を中心に公家が集住するようになり、幕末にはおよそ200軒もの宮家・公家・寺院の里坊などが建ち並ぶ公家町が形成されていました。

明治2年(1869)の東京遷都後、大内保存事業(明治10年~16年)により建物の多くが移転・撤去されました。その後に皇室苑地として整備されたのが現在の国民公園京都御苑の始まりです。

京都御苑に残る公家町跡は、貴重な歴史の面影を残しており、現在も保護、継承されています。

幕末の御所と、周辺の公家町



文久改正 内裏御絵図 所蔵(京都市歴史資料館)

ご案内

京都御所・御苑歴史散策ガイドツアー



日時：毎週日曜日 午前9時50分集合(午前10時スタート) 雨天決行

集合場所：閑院宮邸跡、門の前付近(京都御苑南西)

ガイド料：無料

予約：不要。但し、団体(10名以上)および上記日時以外のご案内につきましては、2週間前までに都草事務所へご相談下さい。

交通機関：京都市地下鉄丸太町駅1番出口 京都市バス烏丸丸太町

注意事項：以下の場合、予告なくガイドツアーを中止する場合があります。

緊急事態宣言、京都市内に特別警報・警報等が発令された場合(午前7時時点)。台風や猛暑が予測される場合。

企画・制作：特定非営利活動法人 京都観光文化を考える会・都草(京都御苑歴史研究会)

〒602-8570 京都市上京区下立売通新町西入 京都府庁旧本館2階 TEL/FAX:(075)451-8146

<https://www.miyakogusa.com> E-mail:info@miyakogusa.com

監修：井上満郎(京都市歴史資料館長) マップイラスト：ながた みどり

「令和2年度 上京区民まちづくり活動支援対象事業」 2022.9改(3,000部)